

令和8年度岐阜県立特別支援学校高等部入学者選考
「調査書」記入上の確認事項
【調査書A作成要領】

◎本確認事項は、「令和8年度岐阜県立特別支援学校入学者選考要項」を補説するものであり、同要項と併せて参照し記入すること。

※調査書は、原則生徒指導要録の様式に合わせて作成する。調査書中の「3年」「第3学年」について、義務教育学校においては「9年」「第9学年」と読み替える。

「3年時在籍学級」は、中学校・義務教育学校にあっては「通常の学級」または「特別支援学級」の別を記し、「特別支援学級」の場合は（ ）内に、その学級の種類を記入する。特別支援学校にあっては、「通常」、「重複」または「訪問」の別を記入し、（ ）内は空欄とする。

「卒業見込」「卒業」及び「平成」「令和」は、該当する方を○で囲み、生徒の卒業見込年月日又は、卒業年月日を記入する。

「氏名」は、入学願書の表記と一致させる。

「Ⅰ観点別学習状況」には、A及びCのみを記入し、Bは記入せず、空欄とする。

「Ⅱ評定」について、各学年の在籍学級（通常の学級、特別支援学級等）が異なる場合は、生徒指導要録に基づいて記入し、「6指導上参考となる事項」に状況を補足する。諸事情により、どうしても評定不能の場合は、該当欄に斜線を入れ、「6指導上参考となる事項」に理由を記入する。過年度卒業（令和3「～令和6年度」の出願者については、生徒指導要録の各学年の評定を記入する。

別記第3号様式

調 査 書 A

(特別支援学校高等部入学者選考検査用)

受検番号

1 学 籍 の 記 録		性 別		生 年 月 日		平 成 年 月 日 生	
ふりがな		氏 名		卒業(見込)		平成 年 月 日 卒業見込 令和 年 月 日 卒 業	
3年時在籍学級		()					
2 学 習 の 記 録				4 特別活動の記録			
教科	Ⅰ 観点別学習状況			Ⅱ 評定			I 活動の状況
	観点	学年	3年	1年	2年	3年	
国語	知識・技能						II 事実及び取組状況
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
社会	知識・技能						5 学校内外における諸活動の記録
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
数学	知識・技能						記入内容がないときは、「特記事項なし」と記入する。
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
理科	知識・技能						6 指導上参考となる事項
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
音楽	知識・技能						記入内容がないときは、「特記事項なし」と記入する。
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
美術	知識・技能						7 障 が い の 状 況
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
保健体育	知識・技能						記載責任者氏名
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
技術・家庭	知識・技能						押印不要
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
外国語	知識・技能						上記の記載事項には、誤りのないことを証明します。
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
3 自 立 活 動 の 記 録 (第3学年)							学校名
実施していない場合は斜線を入れる。							
令和 年 月 日							校長名

「受検番号」は、受検先学校が記入するため、何も記入しない。

Ⅱ欄については、Ⅰ欄の○の有無に関わらず、主な事実及び取組状況について記入する。

過年度卒業(令和3～令和6年度)の出願者については、各学校(現中学校・義務教育学校・特別支援学校)の判断において、記載責任者氏名を記入する。

卒業見込の生徒は、令和8年1月30日と記入する。過年度卒業の出願者については、1月30日から出願日までのうち、いずれかの期日を記入する。

「7 障がいの状況」は、
 ・学校教育法施行令第22条の3に規定されている区分を記入する。
 ・疾病等の診断名を記入する(保護者が了解していること)。
 ・身体障害者手帳又は療育手帳の所有状況(等級を含む)を記入する。

*必要に応じて補助簿を付けることとするが、事前に出願先学校とよく相談をすること。